

貞元親王伝説と れんげの里 貞元



貞元親王墓



れんげ草 (4~6月)



神将寺

薬師堂



満隆寺



八幡神社



お神輿



石井魁斗 (小6)



力石



どんど焼き



さくら



アジサイ



江川にコイ稚魚の放流



下の堂



三保の稲荷様



堀井戸



佐久間玲奈 (小1)



釜神公民館
川原堂~地蔵堂~公会堂~公民館と時代とともに呼名も変わった。昔の釜神は川原であった。



鳥沢貴夫 (小6)

貞元の年中行事

1月	新年会・べ張り・初午
1(2)月	どんど焼き
2月	芝焼き
3月	用水路掃除
4月	八幡神社春祭り
5月	早苗ぶり
6(7)月	江川土手の草刈り
7月	排水路掃除
10月	宮薙ぎ・のぼり立て
10月15日	八幡神社祭礼
12月	集会所清掃・忘年会
定例会議	毎月1回



旧貞元村役場会議室

貞元出身の有名入

三沢得太郎 (1857~1935)	祖先は相馬藩の藩士。明治維新で藩が解体したので、得太郎の父は、貞元に来て三沢家を継いだ。その流れをくむ得太郎は剣道修業にはげみ『貞元親王墓』の隣地に道場を開設し、多くの人々に剣道を教えた。富津市や木更津からの入門者も多かった。
鈴木重昌 (1810~1880)	両親が江戸で働いていたので重昌は、江戸で生まれた。当時江戸で流行中の『和算』に興味をもち長谷川善右衛門の塾に入った。25才のとき貞元に帰り、多くの人たちに『和算』を教えた。『和算』は、明治らしい西洋数学に代られ、今日では行われていない。
鮎川源右衛門 (1801~1869)	幼い時から、満隆寺の僧について漢字を学び、のち江戸に出て修業を重ねた。やがて貞元に帰り名主や房総二州民部取締役をつとめ、そのかわら多くの人たちに学問を教えた。